

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長井市すみれ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年12月3日		～ 令和7年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士など多職種で連携し、支援している。	それぞれの専門職が対象児童に関わることで、対象児童の成長につながっている。また、外部研修にも積極的に参加するようにしている。	ケース検討会を開催したり、さらに個々の力をのばすための工夫を行いたい。
2	保育所等の日課と同じような流れにしている。	就学をみすえ、支援を行っている。毎日同じ日課にし、活動にメリハリをつけるようにしている。	利用人数が増えてきているため、年長と年中以下のクラスに分け、その年代に合わせた日課を検討しながら支援を行っている。
3	長井市直営の施設である。	長井市の子育て推進課、健康スポーツ課、福祉あんしん課と連携しながら支援を行っている。	利用児童やその保護者のニーズをお聞きしながら、各課との連携を図り事業を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	気軽に相談できる場が少ない。保護者同士で交流する機会が少ない。	特に送迎サービスを利用している場合は保護者の方とお会いできる機会が少ない。毎月すみれカフェを行っているが、平日に開催しているため参加できない保護者もいる。	すみれカフェ以外にも保護者が集まり、お互いに相談したり、保護者同士で交流できる機会を検討していく。
2	地域交流がうすい。	コロナ禍、事業所の移転もあり、地域との交流が減っている。	今年度開催したすみれ学園祭に地域の方を招いた。避難訓練などの他の行事等の参加なども検討したい。
3	第三者による外部評価を行っていない。	外部評価を行う体制作りができていない。	来年度以降外部評価を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	長井市すみれ学園					公表日	令和8年2月13日		
					利用児童数	26人	令和7年12月23日	回収数	22人
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	0				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2	0	2				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3	0	0				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	0				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2	0	0				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	3	0	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	2				
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	14	3	1	4		地域のおそびばを使う際など、地域の方と交流する機会もあります。今後も交流する機会について検討していきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	0	0	3				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	5	0	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	4	2	0				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	0	1	5				
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	1	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	3		月1回園だよりの発行、不定期に機関誌ほっぺの発行を行い情報発信をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2	0	6		各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施しております。今後保護者の方にも安心していただけるようマニュアルの紹介等を行っていききたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	8		今後訓練を行った場合、園だより等での報告を行っていききたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	5		今後も安全に留意しながら支援を行っていきます。今後保護者の方にも安心していただけるよう園だより等での紹介等を行っていききたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	0	2	事故等が発生しておらずわからない。	事故等が発生した場合、速やかに処置を行い、保護者に事故発生状況について報告するようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	2	0	0	通所してまもないので、やっと慣れてきたのかなと思う。	安心して通所できるよう、職員一同努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	4	0	0		今後もすみれ学園への通所が楽しみとなるよう、職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	1		今後も利用児童の成長につながるよう、職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		長井市すみれ学園		公表日		令和8年2月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		各部屋を利用したり、マットやパーテーションを使ってスペースの確保を行っている。	個別対応が必要な児童が増えていることと、児童同士の関係性もあり、クールダウンを含めるともう少しスペースが必要な場合がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切な配置はされているが、会議や研修、送迎等で職員が手薄になる場合がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			トイレに関して、トイレトレーニング中の児童もいるので踏み台や補助便座を用意し安心して意欲的にトレーニングできるようにしたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当で話し合って目標を決めたり、毎日の振り返りで情報共有や検討を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者への評価表の配布や、すみれカフェの実施等を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝会や職員会議、ケース会議等実施し検討している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていないが、今後実施を検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		資質向上のため、様々な研修に職員が参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析することについては今後の課題である。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、児童発達支援計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、児童発達支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		絵、カードの活用を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもの支援に必要な項目を設定し、その上で、具体的な支援内容を設定するよう心掛けている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が立案し、各担当で話し合いながら決定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないように、玩具遊び、運動、製作活動、外出等様々なプログラムを取り入れている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動、集団活動を組み合わせながら目標設定を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に内容確認や役割分担について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			当日は時間がなく、翌日の朝会時に振り返りを行うこともあるが、職員間で共有するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問時や課題がある場合、保育所、幼稚園、学校等を訪問し情報共有を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		他の事業所と連携を図りながら支援を行っている。	支援について悩んでいる所は経験豊富な専門家より助言等、受けたいと考えている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域のおそびばを使う際など、地域の方と交流する機会がある。今後も交流する機会について検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お会いできない保護者の方には、連絡ノートやお便り、電話などで利用児童の状況をお伝えしている。お会いした保護者の方には都度利用児童の状況をお伝えし、共通理解を持てるよう努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市で行っているペアレントプログラムの参加呼びかけや月1回のすみれカフェ等で研修を実施したり相談や情報共有している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時契約の際に必ず説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意向を確認し、支援を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談等行い必要な支援を行っている。相談等があればその都度対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はないが、すみれカフェを開催しており、保護者同士の交流の場にもなっている。	すみれカフェに参加できていない保護者の方もいるので、悩み等を相談したりする場を提供できるよう検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口について第三者委員の体制について等、契約時に説明を実施している。日頃から家族と話す機会を多く持つようにし、ご要望が聞かれた際にはすぐに対応するよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園より、機関誌「ほっぺ」を作成し発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年度開催したすみれ学園祭に地域の方を招いた。	避難訓練など他の行事等の参加も検討したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施している。	今後保護者の方にも安心していただけるようマニュアルの紹介等を行っていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		主に看護師が確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		今のところ該当者がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			今後保護者の方にも安心していただけるよう園より等での紹介等を行っていく予定である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについて積極的に報告するようにし、事業所内で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				